令和８年 10 月 19 日
国 税 庁 酒 税 課

令和８年度　酒類業振興支援事業費補助金第４期採択事業者の決定について

令和８年度酒類業振興支援事業費補助金第４期について、本年７月 27 日（月）から９月９日（水）までの期間で公募を実施したところ、23 件の応募がありました。

審査の結果、以下の表のとおり 19 件の採択事業者（別紙）を決定しました。

局名	申請件数	採択件数	局名	申請件数	採択件数
札幌	4	3	大阪	2	2
仙台	0	0	広島	1	1
関東信越	4	3	高松	0	0
東京	7	6	福岡	2	2
金沢	0	0	熊本	1	0
名古屋	1	1	沖縄	1	1

別紙

令和８年度　酒類業振興支援事業費補助金第４期採択事業者

１　海外展開支援枠

（ア）日本産酒類の海外展開　(8件)

（イ）酒蔵ツーリズムの推進　(0件)

（ウ）酒類事業者による酒米産地との連携を活かした新たな取組　(0件)

所轄国税局（所）	補助事業者名	事業区分	事業名
札幌	カミウタロクシ合同会社	（ア）	北海道・上歌のテロワールを活かした欧州市場開拓事業
関東信越	山三酒造株式会社	（ア）	一貫した低温製造体制の構築による高付加価値商品の海外展開事業
東京	和飲九九貿易合同会社	（ア）	日本産酒類×現地IPコラボレーションによる台湾市場開拓事業
東京	泉橋酒造株式会社	（ア）	自社栽培酒米で醸す微炭酸新酒のアジア展開事業
東京	スターマーク株式会社	（ア）	県ジンベトナム輸出拡大に向けたプロモーション・ブランド化事業
東京	株式会社ディターボ	（ア）	シンガポールを起点とした日本ワインASEAN市場展開実証事業
大阪	株式会社増田徳兵衛商店	（ア）	海外向け新商品にごり酒の開発と流通管理、販路拡大事業
福岡	小松酒造株式会社	（ア）	日本酒の氷温熟成による高付加価値商品の開発及び海外市場の開拓

２　新市場開拓支援枠

（エ）商品の差別化による新たなニーズ獲得事業　(8件)

（オ）販売手法の多様化による新たなニーズ獲得事業　(2件)

（カ）ＩＣＴ技術の活用による製造・流通の高度化・効率化事業　(1件)

（キ）酒類事業者による酒米産地との連携を活かした新たな取組　(0件)

所轄国税局（所）	補助事業者名	事業区分	事業名
札幌	上川大雪マーケティング株式会社	（オ）	店舗・EC横断型顧客データ活用基盤構築事業
札幌	上ノ国開発株式会社	（エ）	地域生産者と連携したオープンワイナリー型醸造受託事業
関東信越	有限会社佐藤酒造店	（エ）	伝統技法と中空糸密閉ろ過が生み出す極上フレッシュ生酒の開発
関東信越	武重本家酒造株式会社	（エ）	伝統的生酛×生原酒の高付加価値新商品開発と海外新市場開拓
東京	有限会社大阪屋沼利二商店	（オ）	酒器・温度・ペアリングで日本酒を伝える体験型販売の確立
東京	株式会社ユート	（エ）	常温流通型クラフトビールの商品開発・海外市場開拓
名古屋	澤田酒造株式会社	（エ）	伝統的酒造り技術を活かした新ジャンル商品の開発
大阪	ＨＩＮＯ　ＢＲＥＷＩＮＧ株式会社	（エ）	製造委託先との品質データ連携による常温流通対応商品の開発
広島	株式会社ｆｅｒｍｔｅｃｈ	（エ）	広島牡蠣筏を活用した海中熟成ビール開発
福岡	株式会社朝雫	（エ）	九州産原料×官能評価・反復蒸溜による整い系ジン「朝雫」開発
沖縄	まさひろ酒造株式会社	（カ）	現場入力から原価・酒税まで一気通貫の多品目酒類製造管理DX